

施策の柱（主な取組）・令和7年度実績（見込）

1 医療と介護を一体的に提供する体制づくりと質の充実

○利用者の立場に立ったサービスの拡充と介護保険施設等の整備

＜介護保険施設の整備等＞

・特別養護老人ホームなど主な施設の整備状況

（単位：床数）

施設種別	整備目標						整備実績		（参考） 計画上の 総整備数 （～2026年度）
	2024年度（R6）		2025年度（R7）		2026年度（R8）		第9期計画全体		
	計画	実績	計画	見込み	計画	見込み	計画	見込み	
特別養護老人ホーム	67	▲15	35	5	29	92	131	82	7,463
認知症高齢者グループホーム	54	▲15	36	12	18	54	108	51	3,142
ケアハウス	▲10	▲10	0	▲9	0	0	▲10	▲19	1,793
合計	111	▲40	71	8	47	146	229	114	

・有料老人ホーム等の設置把握状況

（単位：施設数）

施設種別	設置状況		
	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）
有料老人ホーム	138	142	147
サービス付き高齢者向け住宅	56	55	56

※年度末時点（R7はR8.1末時点）、休止中除く

○介護サービス事業所の災害・感染症対策

＜高齢者施設における防災組織体制の整備＞

・【新】社会福祉施設の災害対応力の強化

能登半島地震の初動対応等の検証、各施設が防災計画を策定する際の県指針(防災計画作成指針)の改定

【R7】能登6市町の施設に対する初動対応等のアンケート調査の実施（70施設）

高齢者施設における防災計画作成指針策定委員会の開催（全3回）

○高齢者の権利擁護と擁護者支援の推進

◇高齢者虐待の防止と養護者支援等の推進

＜市町に対する支援強化＞

・市町や地域包括支援センターの要請に応じて、高齢者虐待対応専門職チームを派遣

【R7】相談1件、派遣2件（R8.2月末時点）（参考）R6：相談0件、派遣6件 R5：相談1件、派遣3件

※高齢者虐待対応専門職チーム…弁護士や社会福祉士等がチームとなり、市町で対応が困難とされた虐待事例について、相談や派遣に応ずる

＜養介護施設従事者等による高齢者虐待防止への取組強化＞

・介護サービス従事者及び管理者を対象とした研修の開催

【R7】延べ543人参加 ※内訳（在宅編）189人（施設編）192人（管理者編）162人

（参考）R6：延べ567人参加 ※内訳（在宅編）203人（施設編）200人（管理者編）164人

◇介護保険施設等における身体拘束廃止の徹底

＜身体拘束に関する知識の普及啓発、研修の実施＞

・身体拘束廃止推進員養成研修（対象：介護施設において指導的立場にある介護職員）

【R7】3回開催、166人参加（参考）R6：3回開催、計167人参加 R5：3回開催、計134人参加

・身体拘束廃止実務看護職員研修（対象：身体拘束廃止等の取組を推進することが出来る看護職員）

【R7】77人参加（参考）R6：64人参加 R5：54人参加

○医療との連携強化

◇医療と介護の連携推進と在宅医療の充実

＜医療と介護の連携推進と在宅医療の充実＞

・事業の中心的な役割を担うコーディネーター等に対するスキルアップ研修の開催

【R7】36人参加（参考）R6：30人参加 R5：能登半島地震の影響により中止

・在宅医療の中核となる医療従事者を対象とした地域リーダー研修会の開催（在宅医療連携グループ単位で開催）

【R7】集計中（参考）R6：290人参加 R5：322人参加

※県内在宅医療連携グループの設置数：17グループ

施策の柱（主な取組）・令和7年度実績（見込）

◇地域リハビリテーション体制の充実

<地域リハビリテーション関係機関職員の資質向上>

- ・市町事業に関わるリハビリテーション専門職の育成研修

【R7】2回開催（1回目52人参加、2回目93人参加）

（参考）R6：2回開催（1回目83人参加、2回目148人参加） R5：1回開催（38人参加）

2 サービスを支える人材の確保と質の向上

○新規就業者の参入促進

◇介護・福祉職の魅力発信

<小中高生を対象とした職場体験等による理解促進>

- ・【新】小中学生対象とした、介護・福祉の仕事体験イベント「キッズケアいしかわ」を開催

【R7】来場者：約3,500人 お仕事体験者：約180人

◇多様な人材の確保

<介護福祉士等修学資金の貸付等>

- ・介護福祉士養成施設の学生に対する修学資金貸付（貸付額：5万円/月 ※県内施設での3年勤務で返済免除）

【R7】新規貸付 30人（見込） （参考）R6：37人 R5：22人

- ・福祉系高校生に対する修学資金貸付（貸付額：最大27万円(3年生時) ※県内施設での3年勤務で返済免除）

【R7】新規貸付 0人（見込） （参考）R6：2人 R5：4人

<福祉人材センター（福サポいしかわ）における就職マッチング>

- ・介護・福祉人材確保の拠点である「福サポいしかわ」における就職マッチング

【R7】福祉人材のマッチング件数：157件（R7.12月現在） （参考）R6：322件 R5：199件

- ・ハローワーク求職者を対象に、福祉職のセミナーや施設見学会を実施

【R7】・セミナー：181人参加、個別相談：56人参加（R7.12月現在） ※各ハローワークで毎月開催

・見学会：3回開催、10人参加

（参考）R6：セミナー：563人参加、個別相談：92人参加、見学会：4回開催、23人参加

R5：セミナー：570人参加、個別相談：84人参加、見学会：3回開催、37人参加

<他業種からの転職者への就職支援金の貸付>

- ・他業種から介護分野への就業時に必要経費を最大20万円貸付（2年間の勤務で返済免除）

【R7】貸付実績：22件（R7.11月末時点） （参考）R6：34件 R5：33件

<潜在介護人材への再就職準備金の貸付>

- ・介護職員(要資格)として再就職の際に必要な準備経費を最大40万円貸付（2年間の勤務で返済免除）

【R7】貸付実績：19人（R7.11月末現在） （参考）R6：28人 R5：28人

<外国人介護人材の活用促進>

- ・外国人受入れを検討している法人等を対象としたセミナー、オンライン個別相談会

【R7】セミナー：33法人37名、個別相談会：13法人

（参考）R6：セミナー 18法人46名、個別相談会 8法人 R5：セミナー 31法人39名、個別相談会 14法人

- ・【新】外国人受入施設の見学会、外国人材紹介会社との面談会

【R7】見学会：20法人37名 面談会：23法人32名

- ・技能実習生等を受け入れる事業者が行う日本語学習への補助

【R7】10法人、33人（見込） （参考）R6：10法人、38人 R5：3法人、16人

- ・留学生を雇用する介護事業者が行う日本語学校修学支援への助成

【R7】10事業所、34人（見込） （参考）R6：8事業所、28人 R5：11事業所、30人

○就業者の定着・育成

◇働きやすい職場づくりの促進

<介護生産性向上の促進>

- ・ICT・IoT機器を導入する介護事業所に対して、導入費用の一部を補助

【R7】151事業所（見込） （参考）R6：127事業所 R5：160事業所

- ・【新】「いしかわ介護業務改善相談支援センター」を設置し、介護保険サービス事業所等を対象に、生産性向上に関する相談対応、伴走支援、機器展示・試用貸出の仲介、各種研修を実施

【R7】一般相談：332件（R8.1月末現在）

伴走支援：15事業所 ※課題の見える化、計画策定、機器の導入等

研修会：4回開催（延べ512事業所参加）

施策の柱（主な取組）・令和7年度実績（見込）

<多様な働き方の促進>

- ・【新】介護現場におけるスポットワークを促進するため、事業者向けセミナーの開催やスポットワーカーを雇用する際に活用する民間のマッチングアプリなどのシステム利用料の一部助成を実施
【R7】セミナー参加：40事業者
うち民間マッチングアプリ活用事業者：28事業者
→延べ818人の募集に対し延べ740人を雇用（マッチング率：90.5% リピーター率：49.9%）

<介護職員の処遇改善>

- ・介護職員等特定処遇改善加算取得促進セミナーの開催
【R7】2回開催、計11人参加（参考）R6：3回開催、計12人参加 R5：計2回開催、計12人参加
- ・【新】介護人材確保・職場環境改善等事業
介護職員の賃上げや介護現場の業務効率化、職場環境の改善により、職員の職場定着を推進するため、事業所に対し、補助金の交付により支援

◇介護・福祉人材の質の向上

<福祉総合研修センター等の研修の充実>

- ・介護支援専門員研修、高齢者施設職員研修、喀痰吸引実施研修、福祉サービス総合研修などの実施
【R7】研修計画：116コース（243回）、計画人員：約17,800人
（参考）R6：256回 約12,700人 R5：249回 約11,500人

<職員間の切磋琢磨によるスキルアップ>

- ・介護職員が食事・入浴などの日常介護に関する知識・技能を競い合う「介護技能グランプリ」を実施（「キッザケアいしかわ」内）
【R7】参加者数：18名（食事：6名、入浴：6名、排泄：6名）
表彰：各部門最優秀賞：3名、技能賞：4名
（参考）R6：参加者20名 R5：参加者21名 ※「いしかわ介護フェスタ」内で実施



3 高齢者やその家族の生活を支える地域づくりの推進

○地域包括ケアシステムの深化

<地域包括支援センターの効果的な運営への支援>

- ・市町の地域包括支援センター職員を対象とした研修の開催
【R7】初任者向け：43人、実務者向け：68人（予定）、管理職向け：83人
（参考）地域包括支援センター設置数：19市町56箇所（R7.10月現在）

<アドバイザー派遣等による個別支援>

- ・市町それぞれの課題に対して助言を行うアドバイザーを派遣
【R7】計8回（見込）（参考）R6：計8回 R5：計11回

○生活支援サービス等の基盤整備の推進

<生活支援コーディネーターの養成等による生活支援体制整備の取組支援>

- ・生活支援コーディネーター養成研修の開催
【R7】2回開催、計70人参加（見込）（参考）R6：3回開催、計135人参加 R5：5回開催、計67人参加
→県内市町の生活支援コーディネーター配置数：114人（R7.5月現在）※全19市町に配置
※生活支援コーディネーター…地域で生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者

<傾聴ボランティアの養成>

高齢者の話を傾聴して、気持ちを共感しながら聞くボランティアの養成講座の開催

【R7】51人参加（参考）R6：53人参加 R5：40人参加

→傾聴ボランティア登録数 計419人（R7.4月現在） 傾聴活動：延べ6,001回派遣（R6年度実績）

<お達者ですか訪問事業等による孤立化予防>

医療・介護サービスの利用実績がない75歳以上の高齢者情報を市町に提供し、孤立の可能性のある高齢者世帯を保健師等が家庭訪問

【R7】データ提供数 5,068人（75歳以上人口の約2.6%）

（参考）R6：データ提供数 5,160人（75歳以上人口の約2.7%）

訪問数 1,080人（うち支援につながった者：147人）

施策の柱（主な取組）・令和7年度実績（見込）

4 介護予防と生きがいつくり、健康づくりの推進

○介護予防の推進

<市町の自立支援・重度化防止に向けた取組の推進>

- ・市町の介護予防事業担当者等の資質向上を目的とした研修会の開催
【R7】38人参加（参考）R6：実施なし R5：55人参加

<保健事業と介護予防の一体的実施の推進>

- ・市町における高齢者に対する保健事業と介護予防の取組が一体的に実施されるよう、石川県国民健康保険団体連合会や石川県後期高齢者医療広域連合と連携し、研修会を開催
→県内の一体的実施の取組状況：全19市町で実施

○生きがいつくりと社会参加の促進

<老人クラブ加入率の向上>

- ・社会貢献活動を積極的に行っている老人クラブの表彰や活動事例紹介の実施
【R7】3クラブ表彰（H9～R7：累計：163クラブ表彰）

<「いしかわ長寿大学」の充実>

- ・地域の高齢者福祉を推進するリーダー養成を目的とした「いしかわ長寿大学」を開講（設立：石川中央校（H2～）、能登中部校（H10～）、能登北部校（H4～））
【R7】修了者数 3校計 125人、累計修了者数：2,498人

○運動習慣づくりの推進

<高齢者を対象としたスポーツ大会の開催>

- ・地域や世代を超えた交流が深められる「ゆーりんピック」を開催
【R7】ゆーりんピック2025（大会期間：R7.5.4～6.1のうち13日間）
(1)開会式 令和7年5月17日 式典等参加人数：517人
(2)スポーツ・文化交流大会 参加人数：4,179人
(3)美術展 参加人数：687人



- ・全国健康福祉祭への参加

全国健康福祉祭(ねんりんピック)への参加を通じた、高齢者の健康づくりや生きがいつくり、社会参加の促進
【R7】岐阜県：22競技、182人派遣

○働く世代からの健康づくりの推進

<気軽に主体的に取り組める健康づくりの推進>

- ・健康的な食環境づくり推進
 - こっそり減塩事業
県内スーパー等と連携した減塩弁当・総菜等を販売する「こっそり減塩事業」の実施（1社、3品）
 - 野菜摂取量の見える化事業
「いしかわの農林漁業まつり」ブース内でのベジチェック®測定体験の実施（2日間、1,041人参加）
- ・ロコモ予防の普及啓発
「キッズケアいしかわ」におけるロコモ度テストの実施（68人参加）、広報でのロコモ予防の啓発

施策の柱（主な取組）・令和7年度実績（見込）

5 高齢者にとって安全で安心な地域社会づくりの推進

○地域における支え合いの推進

<地域見守りネットワークの推進>

- ・県と民間企業等で立ち上げた「地域見守りネットワーク」による、ゆるやかな見守り体制の推進
→（参考）ネットワーク協定締結数：計103事業者（R8.3月現在） ※R7は3事業者と新規締結

○居住環境づくりの推進

<バリアフリー化に関する相談への対応>

- ・県民からバリアフリーの相談があった場合にアドバイザーを派遣し、改修についての助言を実施
【R7】56件（見込）（参考）R6：56件 R5：56件

○安心して生活できる社会づくりの推進

<共生社会づくり条例の推進>

- ・共生社会づくり条例に基づく障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくりの推進
障害者ふれあいフェスティバルの開催
特設ホームページ「みんなでつくるくらしやすいまち」等による普及啓発
共生社会づくりモデル地域コミュニティの認定
- ・ヘルプマークの普及・啓発（県内67か所の窓口で配布）
援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマーク



<障害者等用駐車場の適正利用の推進>

- ・障害者や高齢者等で歩行が困難な方を対象に利用証を交付し、障害者等用駐車場を利用できる方を明確にする「いしかわ支え合い駐車場制度」の普及

6 震災復興に向けての取組

○被災高齢者への支援

<被災者への見守り・相談支援>

- ・仮設住宅等に居住する被災者への見守り・相談支援等を実施
【R7】訪問件数 115,953件 他機関へのつなぎ件数 4,366件（いずれもR8.1月現在）

<被災者へのリハビリテーション支援>

- ・仮設住宅や被災自宅で閉じこもりがちな高齢者等の要介護化や状態悪化の予防のためリハビリテーション専門職による介護予防教室や個別訪問による相談支援等を実施
【R7】介護予防教室開催回数：841回（R7.12月現在）

<被災者の心のケア>

- ・心のケアを行う総合相談窓口として、「石川こころのケアセンター」を設置
【R7】相談件数：2,544件（R8.2月現在）

<健康の維持・増進、栄養改善の推進>

- ・保健師・看護師の派遣による健康相談や健康教室等の健康支援を実施
【R7】支援人数：236人（R8.1月現在）
- ・管理栄養士の派遣による栄養指導等の食生活等支援を実施
【R7】支援人数：539人（R8.1月現在）
- ・歯科医師・歯科衛生士の派遣による口腔内の健康状態確認等の口腔ケア支援等を実施
【R7】支援人数：165人（R8.1月現在）
- ・仮設住宅集会所等での栄養教室や料理教室の実施
【R7】支援人数：1,572人（R8.1月現在）

○介護サービス提供体制の復旧・整備

<高齢者施設の復旧>

- ・被害を受けた施設に対し災害復旧に要する費用の一部を補助
復旧内容の相談対応、補助金協議書の審査を実施
→高齢者施設再開率 97.6%（81/83施設） ※6市町、廃止除く
- ・地域医療介護総合確保基金を活用した施設再開支援（再開にあたっての備品等を支援）
【R7】5件（見込）（参考）R6：3件

施策の柱（主な取組）・令和7年度実績（見込）

7 認知症施策の推進（石川県認知症施策推進計画）

○早期診断と診療体制の整備、円滑な退院と在宅療養の支援

<かかりつけ医による早期発見・早期対応と継続医療体制の強化>

- ・かかりつけ医等認知症対応力向上研修
【R7】第1回座学 135人 第2回 座学 129人参加 ※H18～R7累計：1,261人
- ・認知症サポート医養成研修課
【R7】13人養成(見込) ※H23～R7累計：281人
- ・認知症エキスパート研修（サポート医フォローアップ研修）
【R7】20人 ※H26～R7累計：271人受講

<関係機関と連携した相談窓口の充実>

- ・認知症の専門的医療を提供する認知症疾患医療センター※に相談窓口を設置
【R7】相談件数：2,418件（R7.12月末現在） ※H28～R7累計：24,728件
※認知症疾患医療センター
南加賀圏域：南加賀認知症疾患医療センター（加賀こころの病院）
石川中央・能登中部圏域：石川県認知症疾患医療センター（石川県立こころの病院）
能登中部・能登北部圏域：能登認知症疾患医療センター（公立能登総合病院）
- ・若年性認知症の方やその家族からの相談に総合的に対応する相談窓口を県立こころの病院に設置
【R7】相談件数：27件（R7.10月末現在） ※H28～R7累計：424件

○介護サービス事業所等における認知症対応力の強化

<全ての介護職員に対する認知症介護基礎研修の実施>

- 認知症介護サービス向上研修（認知症介護基礎研修）
 - ・eラーニング形式（R3～）】（累計2,344人受講）
 - ・集合形式（H27～R5）（累計1,499人受講）

<キャリアに応じた認知症対応力の強化>

- 認知症介護実践者研修（H13～）実務経験が2年以上
R7受講者数 109人（累計4,436人受講）
- 認知症介護実践リーダー研修（H13～）実務経験が5年以上のリーダー的役割
R7受講者数 52人（累計537人受講）
- 認知症対応型サービス事業管理者研修（H17～）事業所の管理者・代表者
R7受講者数（管理者研修）22人（見込）（累計1,335人受講）（見込）
- 認知症介護指導者養成研修（H13～）認知症介護実践者研修を企画・立案する方
累計31人受講

○地域における支援体制の充実

<認知症フォーラム等の実施>

- ・認知症フォーラムの開催
【R7】地域における認知症支援の担い手の育成と効果的な活動の先進事例等を学ぶためのフォーラム(R7.11.30)
130人参加
- ・認知症の症状を自分事として体験できるVR(バーチャルリアリティ)体験の実施（「キッズケアいしかわ」内）
【R7】約70人参加

<認知症ハートフルサポート企業・団体の認定>

- ・認知症サポーター養成講座受講等の一定の要件を満たした県内企業等を「認知症ハートフルサポート企業・団体」として認定
→（参考）認定数：計297件（ゴールド認定277件、シルバー認定20件）（R8.3月時点）



認定ステッカー

<eスポーツ認知症予防促進モデル事業>

- ・市町の通いの場等において、高齢者を対象としたeスポーツ体験会を開催
【R7】計13回開催(5市町)（参考）R6：計13回開催(7市町) R5：計11回開催(3市町)

○認知症予防の推進、初期対応の強化

<認知症初期集中支援チームの活動支援>

- ・市町の認知症初期集中支援チーム員が参加する研修の受講料助成
【R7】15人参加（参考）R6：19人参加 R5：22人参加
→県内認知症初期集中支援チームの状況：チーム数 40チーム、R6訪問件数 859件（全19市町で設置済）

施策の柱（主な取組）・令和7年度実績（見込）

8 介護保険事業の適正な運営の確保

○公平・公正かつ適切な要介護認定の実施体制の確保
<認定調査員等の研修の実施> ・認定調査員研修 【R7】（新規調査員）2回開催、122人受講（現任調査員）1回開催、599人受講 ・介護認定審査会委員研修 【R7】オンデマンド研修 393人受講（予定） ・主治医意見書記載説明会 【R7】3回開催、242人受講（予定）
○介護給付適正化の推進
<適正化の取組を行う保険者への支援> ・「介護給付適正化取組方針2024」に基づき、保険者が行う介護給付適正化の取組を支援 【R7】要介護認定の適正化、ケアプラン点検、医療情報との突合の3事業について全19市町で実施
○介護サービス事業者に対する指導の徹底
<介護サービス事業者等を対象とした運営指導の実施> 【R7】実施件数 110事業所（見込）（参考）R6：136事業所 R5：233事業所

■ 石川県長寿社会プラン2024における成果指標

指標名	基準値	目標値※	直近実績
健康寿命	健康寿命 男性：73.60歳 女性：75.97歳 (2022(R4)) 平均寿命 男性：81.65歳 女性：87.33歳 (2022(R4))	平均寿命の増加を上回る健康寿命の増加	※基準値と同様
いしかわ長寿大学の修了者数（累計）	2,172人 (2022(R4))	2,700人	2,498人 (2026(R8).2月現在)
介護職員数	20,500人 (2022(R4))	26,000人 (2040(R22))	18,900人 (2024(R6))
介護職員等への腰痛対策を実施している介護サービス事業者の割合	41.1% (2022(R4))	増加	48.1% (2024(R6))
地域見守りネットワーク協定締結事業者数	94事業者 (2022(R4))	115事業者	102事業者 (2026(R8).2月現在)
認知症サポーター養成数（累計）	137,357人 (2022(R4))	160,000人	158,888人 (2025(R7).12月現在)

※目標値：年次の記載がないものは2026（R8年度）までの目標